

聞こえの心配な乳幼児をお育ての保護者の皆様へ

「音に反応しない」「名前を呼んでも振り向かない」地域でこのようなお子様の子育てで悩んでみえる保護者の方は、1日でも早く、愛知県立一宮聾学校の乳幼児教育相談をご利用ください。

「聞こえ」と「ことば」は、3歳までにその基礎が確立すると言われています。そのため、「聞こえ」による「ことば」の遅れに対する教育は、早ければ早いほど効果が上がります。少しでもお子様の「聞こえ」や「ことば」に不安を抱かれましたら、ためらわずにご連絡ください。

▼教育相談／悩みや子育てへのアドバイス、聞こえに関する簡単な検査を行います。

▼乳幼児教室／聞こえや聞こえによることばの障害のあるお子様と保護者を対象にした個別の支援を行います。(2歳児は、週1回の集団指導も行っています。)

▼進路相談／難聴のお子様の進路相談

▼その他／相談は、随時行っています。相談、聴力測定、指導料は無料です。

☎ 愛知県立一宮聾学校 ☎0586(45)6000 FAX0586(43)4462

新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口・受診方法について

<相談・受診方法>

1. 発熱などの症状が生じた場合は、まずは、**かかりつけ医**などの地域で身近な医療機関に電話でご相談ください。
2. かかりつけ医などを持たない場合や相談する医療機関に迷う場合は、「**受診・相談センター**」もしくは「**救急医療情報センター**」へ電話でご相談ください。

●**受診・相談センター** ●**救急医療情報センター(24時間)**

愛知県 津島保健所	☎(24)6999	夜間・休日 相談窓口	☎052(526)5887	津島市	☎(26)1133
開設時間	平日:午前9時~ 午後5時30分	開設時間	平日夜間:午後5時30分~翌午前9時 土・日曜日、祝日:24時間体制	県	☎052(263)1133

3. 1または2で案内された「診療・検査医療機関」に電話連絡し、医療機関の指示に従って受診してください。

*「感染しない、感染させない」ため、日頃から3つの密が発生する場所を徹底して避けるとともに、マスクの着用、手洗い、消毒など基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。

梅雨が明けるとこの時期は、最高気温が35℃以上の猛暑日が観測されるようになります。体がまだ暑さに十分に慣れていないため、熱中症による救急搬送が増加します。また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、外出を控え、自宅で過ごされる方も多くみえると思いますが、屋内でも室温や湿度によっては発症することがあります。しっかりと対策をとって、熱中症を予防しましょう。

熱中症とはどういった病気?
熱によって起こる様々な身体の不調のことをいい、暑さによって体内の水分・塩分のバランスが崩れ、体温の調節機能が乱れてしまうことが原因です。めまい、立ちくらみ、体温上昇、倦怠感、嘔吐などの症状があり、ひどいとけいれんや意識を失うこともあります。

熱中症の予防ポイント
・エアコン、扇風機、遮光カーテン、すだれなどを使用し、室温を調節しましょう。エアコンの使用を控えたリ、我慢はしないでください。
・運動中や作業中は無理せず、こまめに休憩をとりましょう。
・入浴中や睡眠中、日々の生活の中でも、体の水分は失われていきま



熱中症に気を付けて

す。のどが渇いたと感じる前に水分補給は計画的に行い、スポーツドリンクなどで塩分や糖分をしつかりと補給しましょう。

新型コロナウイルス感染症防止対策と熱中症予防
・高温多湿の環境下でのマスクの着用は、熱中症のリスクが高くなります。屋外で人と十分な距離が確保できる時は、マスクを外すことも検討しましょう。
・エアコンの使用は、熱中症対策に有効ですが、新型コロナウイルス感染症防止対策においては窓の開放や換気扇での換気が必要です。換気により室温が高くなることもあるので、エアコンの温度設定を下げるなどの調節を行いましょう。
熱中症になったときは
・涼しい場所へ移動する。
・衣服を脱がしたり、常温の霧状の水を身体に吹き付け、うちわなどで扇ぐ。
特に子どもや高齢者は体温調節がうまくできない場合があるので注意が必要です。
意識障害(受け答えや会話がおかしい)、運動障害(普段通りに歩けないなど)、けいれんなどの症状がみられる場合は、すぐに救急車を要請してください。

暑さとうまく付き合って、熱中症を防ぎましょう。

☎消防本部予防課 ☎(26)1109

